

令和8年1月14日（水）、プラスチックゴミ処理センターの見学会を行いました。当日は、安全安心ネットワーク・環境美化部会のメンバー5名で、岡山市南区藤田にある「藤クリーンプラスチック資源循環センター」を訪問しました。

岡山市では、令和6年3月から廃プラスチックは可燃ゴミではなく資源廃材として再利用される様になりましたが、私たちが出した廃プラスチックが、どのように選別され、再利用へとつながっていくのかを実際に見学しました。



センターは、再生可能なプラスチックのみを選別して圧縮梱包して次工程の工場に出荷する中間処理施設で、年間約7000トンを出荷していました。



集荷された廃プラには汚れた状態の物・帯状の長い物・シート状の広面積の物・金属類・ビン等やモバイルバッテリー・刃物・注射針等の危険な物も含まれているため、磁気等による機械選別に加え、作業員の方が一つひとつ目で確認し、異物や危険物が混ざらないよう丁寧に作業されている様子がとても印象的でした。

今回の見学を通して、廃プラスチックも大切な資源であり、日頃から正しく分別して出すことが、リサイクルにつながることを改めて実感しました。これからも、身近なところから環境にやさしい行動を心がけていきたいですね。

